平成 28 年度　第 1 回福岡県助産師会スキルアップ研修会実施報告
母乳育児支援(乳腺炎 2015)改訂版母乳育児支援事業務基準

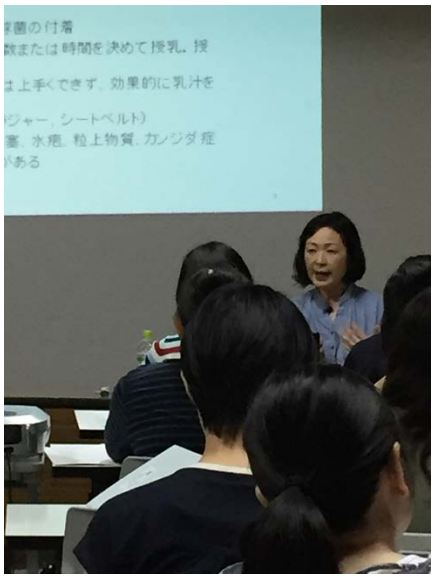
講師：めぐみ助産院　院長　寺田恵子　助産師

私たちが携わっている業務の中で、母乳育児支援は、特に広い範囲を占めています。乳幼児期の出産直後から断乳・卒乳までと長い期間になります。　産婦さん自身母乳育児を願っていても、母乳分泌不足で子供の成長は順調にいけているのか・仕事との両立・混合哺乳の上手なやり方・多乳によるトラブルそして乳腺炎など様々な問題を抱えることも少なくないのが現状です。　なかでも乳腺炎の対処法は的確な判断を求められ、乳房ケアに関しても知識を求められる。

今回の参加者の大半が、20 歳から 30 歳の人で、乳房ケアに自信が持てない・乳腺炎の対処の仕方が今一つ分からないという悩みを抱えています。
エビデンスの高い知識を得たい・正しい乳房ケアのやり方を学びたいと思っているなか、フローチャート改訂後に合わせた事例検討は、いろいろな部所の人との情報交換をすることで知識の幅が広がったとの感想も得られた。奥の深い分野でもあり実際に手技を教えてもらいたいとの意見もありました。

母乳育児を成功させるための 10 カ条を通して、母乳育児支援の基盤を読み解かれていましたが、妊娠期からまずは「母乳で育てていくという思いを育てていく事」が大切で、産後から母乳分泌が安定するまでは、密接な関わりの必要性を感じました。

ひとりでも多くの妊産婦さんに母乳の良さ・大切さを伝えて、充実した母乳育児を送ってもらえるために、知識の向上に努めなければならないと思います。
寺田先生のお忙しい中、研修会をして頂きましてありがとうございました。



文責　教育委員　黒岩ゆき